



取扱説明書

この度は弊社製品を御買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

■装着可能車種と製品の仕様

- ☐車 名 : TOYOTA / GR ヤリス, ヤリス, ヤリスクロス
- ☐型 式 : MXPA12 / MXPA10 / MXPA15 / MXPB10 / MXPB15
- ☐エンジン : M15A-FKS
- ☐年 式 : 2020 年 9 月～(MXPA12), 2020 年 2 月～(MXPA10, MXPA15), 2020 年 8 月～(MXPB10, MXPB15)
- ☐製品名称 : BLITZ SUCTION KIT
- ☐製品番号 : 55710/55730

■お願い！

- ・本取扱説明書は、お客様が本製品を安全に、正しく組み立て、装着し使用していただく為に装着前並びに組み立て前に必ずお読み下さい。
- ・製品の装着にあたっては取り付け作業者が責任を負うことになります。特に分解整備についての経験や知識の無い方は故障や事故を未然に防ぐ為、認証整備工場などの資格のある専門店で作業を行って下さい。

■はじめに確認して下さい！

- ・本製品は表記パーツリストに記載された部品及び付属品で構成されています。不足品や不具合のある場合は販売店または弊社までご連絡下さい。
- ・本製品を落下させた場合や、装着時に無理な力を加えると装着不良で空気漏れや故障の原因になる場合がありますので十分に注意して下さい。
- ・作業に取りかかる前に必ず純正部品(ホースやバンド等)に変形、割れ、ひび等の劣化が無い点検を行って下さい。もし異常や不具合が生じていたら新品の純正部品に交換して下さい。またガスケット、シール類は再使用せず新品の純正部品に交換して下さい。

■重要事項の確認

- ・本製品はノーマル車種を基準に製作されています。社外品(純正部品以外)のパーツ(パイピング KIT、ブローオフバルブ等)を装着している場合や、事故歴のある車種の場合は本キットの装着ができない場合があります。
- ・本製品を装着すると、車種により ECU のセッティングが必要になる場合があります。
- ・車種によってボルト、ナット等の部品は再使用できない場合があります。自動車メーカー発行の作業手順書(修理書)の記載内容を確認し指示に従って、指定された締め付けトルクでトルクレンチなどを使用して確実に取り付けして下さい。
- ・表記車種以外の車に取り付ける際の加工については、当社は一切責任を負いません。
- ・一般公道での走行は、道路運送車両法を守って走行して下さい。

※本文中の純正部品とは、自動車メーカーの標準装着品の意味です。

■警告

- ・作業時は平坦かつ安全な場所でパーキングブレーキ等を作動させて車両を確実に停止させて下さい。
- ・必ずエンジンを停止させ、エンジン及び周辺部品が完全に冷えた状態を確認してから作業を行って下さい。
身体障害及びやけどの原因となります。

■注意

- ・品質には万全を期しておりますがパイプの中にバフの研磨剤等が付着している事が稀にあります。
事前に点検、洗浄を行ってから取り付けて下さい。
- ・誤った手順で作業を行った場合、エンジンチェックランプ等が点灯する場合がございます。その際はディーラーや販売店に入庫する必要がある場合がございますので予めご了承下さい。

パーツリスト							
サクシオンパイプ		シリコンホースφ60		ホースバンド大		ホースバンド小	
	x1		x2		x4		x1

■ノーマルパーツの取り外し

- 1) エンジンを停止させ IG OFF にした後、6 分以上経過させてからバッテリーのマイナス端子を切り離して下さい。
※バッテリーマイナスターミナルを切り離すと、コンビネーションメータ ASSY に記憶されている情報がクリアされるため、マルチインフォメーションディスプレイの表示が初期状態に変化します。作業前にコンビネーションメータ ASSY の設定状態を確認し、必要であれば設定状態を記録して下さい。
- ※バッテリーのマイナス端子を取り外したことによりパノラミックビューモニター画面及びバックガイドモニター画面に「！」が表示された場合、ステアリングセンサ舵角中立点記憶を行う必要があります。下記の方法または自動車メーカー発行の作業手順書(修理書)の記載内容を確認し指示に従って作業を行って下さい。

ステアリングセンサ舵角中立点記憶の方法

平坦かつ安全な場所でパーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルを踏み込み、シフトレバーを P ポジションにして HV モデルでは READY ON、ガソリンモデルではエンジンを始動した状態で左右両側にステアリングホイールを最大に切ると舵角中立点が記憶されます。

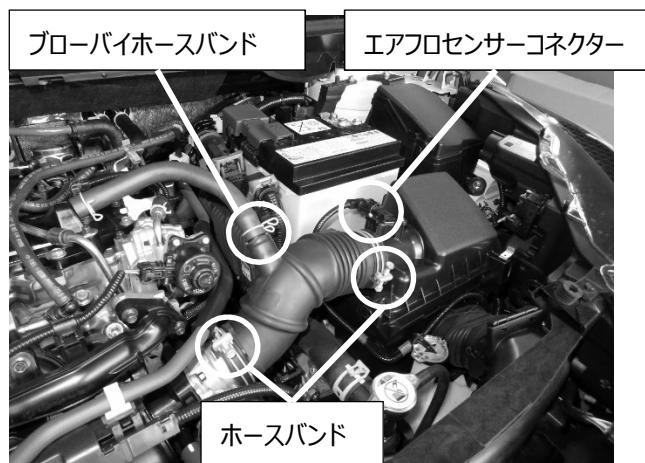


図 1



図 2

- 2) ホースバンドを 2 ケ所、ブローバイホースのバンド 1 ケ所を緩め、純正サクシジョンホースからブローバイホースを取り外します。

(図 1)

※必要に応じて取り外したホース及びパイプ類にマーキングを行いながら作業を行ってください。

- 3) エアフロセンサーコネクタを取り外し、エアクリーナーボックスの上部を取り外してから純正サクシジョンホースを取り外します。

(図 2)

■キットパーツの取り付け



図 3



図 4

- 1) 付属のシリコンホースにはホースバンド大、ブローバイホースにはホースバンド小を使用し、図 3 を参考に付属のサクシジョンパイプを組みつけます。

※この時すべてのホースバンドは締め付けず、仮締めにしてください。

- 2) エアクリーナーボックス上部にシリコンホースとホースバンド大をセットし、元の位置に戻します。(図 4)

- 3) 各部位になるべく負荷がかからない様、各部品的位置を調整しホースバンド 4 ケ所、ブローバイホース 1 ケ所を締め付けます。

(図 4)

4) エアフロセンサーコネクターを元に戻し、エアクリーナーボックス上部を固定して下さい。

※エアフロセンサーコネクターを取り付けていない状態でエンジンを始動するとエンジンチェックランプが点灯する場合がございますので注意して下さい。

5) バッテリーのマイナス端子を元の位置に取り付けて下さい。

以上でキットの取り付けは終了です。

■エンジンの始動にあたって

- ・必ず換気のよい場所で行って下さい。

- ・各部品はしっかりと固定されているか、エア漏れはないか確認して下さい。

- ・配線、配管等が周辺の部品との干渉していないか確認して下さい。

可動部と接触したり、長時間の走行で配線・配管に傷が付いたり、配線ショートを起こしたりすると、最悪の場合はエンジンが破損する恐れがあります。またボンネットを閉めた時にボンネット及び周辺部品と干渉していないことを確認して下さい。

- ・各部に不具合がないか、アイドル状態に異常はないか、テスト走行を行いエア漏れがないか等を確認して下さい。

もし異常や不具合があるようでしたらもう一度本取扱説明書をよく読み各部のチェックを行って下さい。

■装着後のお願い

- ・装着後は定期的に各部の緩みがないか点検・確認し、適宜調整して下さい。異常振動や異音などの症状が発生した場合や変形、破損を発見した場合はただちに使用を中止し走行を行わないで下さい。

走行中は安全な場所に停車し、ただちに点検して下さい。

- ・本製品をご使用になられている期間はこの取扱説明書を大切に保管し、売却、譲渡の際は本製品に添付してお渡し下さい。

- ・キット取り付け後の自動車メーカーの保障につきましては、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。

商品に関するお問い合わせ【ブリッツ サポートセンター】

月曜～金曜 AM 10:00～ PM 17:00 / 〒202-0023 東京都西東京市新町 4-7-6

TEL : 0422-60-2277 FAX : 0422-60-0066